



\\ご当地マドンナとゆく\\

日本全国

ゆるり アウトドア旅

自然の洞窟を探検することを「ケイビング」という。長い年月を経て形成された洞窟は神秘的。ひとたび踏み込めば眠っていた冒険心が呼び覚まされる!? 今回はケイビングに挑戦。

今回の旅先は……
埼玉県寄居町!



写真提供 寄居町

埼玉県北西部に位置する寄居町は、古くから交通の要衝として栄えた場所。周囲に秩父の山を望み、西側は県立長瀬玉淀自然公園に指定されている。町の中央を荒川が流れ、玉淀など水に関連した景勝地が多い自然の宝庫。

第29回 埼玉県

異空間への誘い 洞窟探検で 新感覚体験!

今回の先生

洞窟マン
マサキさん

旅先で出会った洞窟の造形美に魅せられて、「洞窟マン」に。洞窟の非日常体験や楽しさを伝えるべくケイビングツアーを連年で開催している。



今回のマドンナ

寄居町地域おこし協力隊
大田幸子さん

「自然の近くで暮らしたい」と一念発起、東京からターンした。現在は主に空き家の活用事業に取り組んでいる。根っからの地元民と思われるほどに寄居町に馴染み中。



洞窟を探検するなど、映画かはたまた漫画の話? ごく一部の探検家、限られた人だけがするものと思っている人も多いだろう。じつは、未経験でも参加できるツアーがある。もちろん観光鍾乳洞とはまったく違うアドベンチャーな世界だ。

そんなビーバル小僧たちの冒険心をくすぐるようなツアー、参加してみるしかないだろう! 場所は埼玉県北西部、関東平野と秩父の山が接するあたりだ。洞窟探検ツアーの拠点となるのは、寄居町近郊。同町で地域おこし協力隊として従事する大田幸子さんを洞窟探検のマドンナに迎えて参加してみることにした。

1年ほど前に寄居町に移住した大田さんに町の魅力を聞くと、「自然も豊かですが、やっぱり人ですね。宿場町として栄えた歴史もあってか、地元の方はすごく気さくでフレンドリーです。住み始めてまだ浅いですが、知り合いが増えて昔から住んでいるのかと、いわれるくらいです」と楽しげで充実ぶりが窺える。

さて、大田さんとともに向かう洞窟。彼女も「近郊に洞窟探検できる場所があるなんて!」と、知らなかった様子。今回ガイドをしてくれるのは、長年ケイビングツアーを主催している「洞窟マン」マサキさんだ。一同ツナギに身を包んで、ヘルメットを装着、準備を整える。

意外や、意外！
神秘の洞窟内は
涼しく過ごしやすい



ツナギ姿に変身してヘルメットを装着。ヘッドランプの操作法と注意を聞く。真っ暗な洞窟内ではこの明かりが生命線だ！

光が薄く透けて
美しい



この明かりが
頼りですね！



ここ、
進むんですね！

いよいよ洞窟内へ入る。「コカラ!?」と刹那 たじろぐほど小さく見える。そして、エントリー早々にほく前進と相成った。

ときに這いつくばり、ときに隙間に体をねじ込む。全身を使って進むケイビングは、思いのほかいエクササイズだ。



無事に
帰還しました！

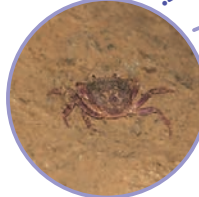


ん？
こっちは
通じてるかな

岩の隙間から
コンニチハ！



暗闇に沢ガニが
そろう！



長い時間を経て自然が生みだした鍾乳石や岩肌は見入ってしまう不思議な美しさがある。「きれいですね〜」と大田さん。外気に影響されない内部は通年で温度も一定、暑くもなく寒くもなく快適。

「この先、行けそうです！」大田さんが隊長となって前進。自ら先頭になると面白さは格段にアップする。小さな生きものもいて、なんだかうれしい！

「洞窟内は狭くて滑りやすいです。動作はとにかくゆっくりと。どんな場所でも油断は禁物です」など説明を聞く。フンドシならぬツナギをキリリを引き締め、いざ突撃（ゆつくりネ）。ヘッドランプを頼りに、這いつくばったりよじ登ったり。じわりじわりと奥へ突き進む。しばらくすると、広い空間に出た天井からは鍾乳石がシャンデリアのごとく垂れ下がっている。「すごいですね。こんなの初めて見ました。いったいどのくらいの年月がかかるんだろう」と、悠久に思いを馳せる大田さん。試しに全員でライトを消してみると、本当の漆黒の闇に包まれる。音もない。本来の洞窟はこんな闇だが、時折小さな生きものの姿もあって感慨深い。「もう少し探検しましょう。次は誰が先頭に行きますか？」とマサキさん。今度は大田さんが先頭で進んでみることに。あちこち縦横無尽に動き、気付けば予定の時刻をすっかりオーバー。時を忘れるほどに楽しんだのだった。唯一無二の体験、アナタもチャレンジしてみては。

洞窟探検を終えて、外へ。なんともいい汚れ具合！充足感と解放感で、この日一番の笑顔が弾けた。

太陽を避けて涼しい木陰 ゆるりと一服を楽しむ

今回のケイピング体験では、狭い空間ということもあり、動作をゆっくりと丁寧に行なうことがポイントだった。それは、忙しなくなる日常でも心がけたいこと。とくに暑い日は、汗をかきすぎないよう涼しくスローな水分補給を。



シーンを選ばない！ 町でもアウトドアでも 大活躍する高機能ボトル

ステンレスボトル/
ROB-002 オープン価格

日常使いしやすい470ml、高い保温力と保冷力を発揮する。ステンレス製の真空断熱構造だから、カバンに入れても結露で濡れる心配なし！ 高機能ながらも軽手で入れもしやすいシンプルな設計が嬉しい。飽きのこない落ち着いたカラーリングが365日、いつでもどこでもお供して乾きの番人となる。



注ぎ口は、扱いやすいシングル
のスクリュー型。中せん部分を1周
程度まわして飲み物を注ぐ。



独特な光沢を放つボディがなんとも魅力。ステンレスかミッドナイトブルーか、甲乙つけがたい。



コップに飲み物を注ぐときは、せん上部にある矢印の方向を下に向けてボトルをゆっくりと傾ける。



中せん部分はずして隅々まで洗浄可能。コップ、中せんパッキン付きは別売りで交換部もある。